

## 企業の物流対策ソリューション支援サービスを開始

—物流レベル簡易診断サービス・物流対策セミナーを提供します—

2008年9月30日

あいおい損害保険株式会社(東京都渋谷区恵比寿 1-28-1 社長:児玉正之)は、株式会社あいおいリスクコンサルティング(東京都渋谷区恵比寿 1-18-14 社長:加藤孝)および西濃グループの株式会社セイノー情報サービス(岐阜県大垣市田口町1番地 社長:孫工昇嗣)の協力を得て、製造業および流通業を中心とした企業の物流に関する経営課題についてのソリューション支援サービスを10月1日より開始します。

現在、企業の物流業務においては、高騰する燃料費の削減要請、物流管理システムの高度化、サプライチェーン受発注における要請の高度化、在庫削減、倉庫業務のアウトソーシングなど効率化や環境問題対応などさまざまな経営課題があります。しかしながら、これらの対策については自社だけでなく取引先を含めて検討していくことが必要なこともあり、十分対応できていない企業も多く見られるのが実情です。

これらの物流業務の特性を踏まえ、物流に関わるさまざまな業種との関連を視野にいれ、効果的な解決を図ることを狙いに、専門的な観点から、物流レベル簡易診断サービスと物流対策セミナーを実施します。

### ■企業の物流対策ソリューション支援サービスの概要

#### 1. 物流レベル簡易診断サービス(無料)

物流の戦略・管理・運用など8つの診断領域について、診断シートの間診に企業の経営者・物流責任者にご回答いただくことで、現状の客観的レベル評価、問題点・課題の設定および改革の方向性を、経験豊富な専門の物流コンサルタント(セイノー情報サービス)が簡易分析を行い提言いたします。

##### ①8つの診断領域

|            |   |
|------------|---|
| 物流管理体制診断   | 物流に関する管理体制、目標管理などを診断いたします。              |
| 物流コスト診断    | 販売等に関わる物流コスト管理レベルなどを診断いたします。            |
| 物流サービス診断   | 得意先への物流サービス条件、サービスレベルなどを診断いたします。        |
| 受発注管理診断    | 受発注に関する得意先とのデータの連携、受発注の実際の運用などを診断いたします。 |
| 在庫管理診断     | 在庫管理の状況、在庫管理レベルなどを診断いたします。              |
| 倉庫管理診断     | 倉庫の立地、運用状況、運用レベルなどを診断いたします。             |
| 輸配送管理診断    | 輸配送の効率向上、コスト削減の取り組みなどを診断いたします。          |
| 物流情報システム診断 | 業務のIT化(システム化)への取り組み、その活用度などを診断いたします。    |

##### ②このような状況における問題解決にご活用いただけます

- ・自社の物流システムの水準や問題点・課題がわからない
- ・物流アウトソーシングをしたいが、どうしてよいかははっきりしていない
- ・今の物流業務プロセスや作業方式でよいかどうかかわからない
- ・コストダウンできる物流領域がどこなのかのあたりをつけたい
- ・いまの物流管理体制や物流構造の問題点を抽出したい

## 2. 物流対策セミナー(有料)

物流に関する効率性や環境問題の観点から、課題や関心の高い問題について6つのテーマを準備しています。これらの中から1テーマ(要望によっては複数)を選択していただき実施します。

### ①セミナーテーマ

| テーマ                          | 内容   |
|------------------------------|--|
| (1)在庫削減                      | 在庫削減は各企業において長年の大きな経営課題になっています。需要変化に応じた日々の在庫マネジメントの方法と最適在庫のアプローチ方法をわかりやすく解説いたします。   |
| (2)物流改革                      | 「経営視点の改革、在庫や現場状況の見える化改革、社員の意識改革」は安易な指示・手法の適用やITへの依存では効果が現れません。成功事例を中心に物流改革の方法について解説いたします。  |
| (3)物流センター改革                  | 在庫マネジメントをする上では、「在庫を正しく把握し可視化すること」が重要となります。それを実現するツールとして、検品システムおよびWMS(※)があります。それらを利用した物流センターの改革方法を事例を交えて解説いたします。<br>※WMS(Warehouse Management System)とは、物流センターにおける一連の業務を効率化するための総合管理システム。   |
| (4)食品流通とロジスティックマネジメント        | フードサプライチェーンの中で物流センターは重要な役割機能を担っています。顧客満足度と利益の向上を図るためには、信頼性のある効率的な物流センター運営が求められています。これらを実現するためには、フードサプライチェーンにおけるトレーサビリティの確立と、鮮度管理の向上をコンセプトに開発された実行系のソリューションが必要となります。食品業界向けのWMSの導入事例と効果について解説いたします。                                |
| (5)SCM(サプライチェーンマネジメント)受発注の改革 | 小売業が中心となったSCMは特に進化が著しく、そのSCMにかかわる卸業者やメーカーは高度な要求に対応することが急務になっています。具体的には、リアルタイムの在庫を加味して受発注したい、急増するEDI化に対応したい、高度な納品条件に応えたい、オープンシステムに対応したい等の課題がよく見られます。SCMの中でもそのフロント部分にあたる「受発注」「ロジスティクス」に焦点を絞り、そのあるべき姿と事例を交えた具体的なソリューションについて解説いたします。 |
| (6)輸配送管理                     | GPSを利用した位置情報システムの普及に伴い、物の位置情報を容易に知ることができるようになりました。物流においては、顧客満足度向上や業務効率化のために、輸送の品質向上とともに、配送状況を可視化し顧客からの問い合わせの即時対応や遅延の事前通知などが必要となってきました。GPS携帯電話を利用し、ロジスティクスにおける可視化を実現し業務全般をどう改善すればいいのかを事例を交えて解説いたします。                              |

### ②セミナーの実施方法

- ・開催方式：出張形式
- ・セミナー時間：1～1.5時間
- ・講師：株式会社セイノー情報サービス 物流コンサルタント
- ・申込単位：事業共同組合・同業者等の企業団体・組織
- ・実施最低参加企業数：20社目処
- ・セミナー料金：1開催につき6万円(交通費・消費税込み)

以上